



福王寺だより

今年も雪が少なく、年々何か気候が変わってきていると感じるこの頃です。変化の時代ではありますが、楽しく、日々を過ごすことが出来れば幸いです。

布施と料金

「お布施と料金なにが違うのでしょうか？」近年では「はっきり決めてもらった方が分かりやすい」と言われる時もあり、「ある程度目安がないと失礼になりそう」という声も聞こえます。

確かに、そういうこともあるのだと思います。何故決めて料金としないのでしょうか？随分前に、境内の草をとっている時に、「面倒だ」と愚痴っていたところ、名誉住職に言われた事を思い出します。

「お経を読むから布施をもらうのではないよ、布施も何もないけどこうして境内を綺麗にして皆が気持ちよいお寺を作るのも勤めだし、朝のお参りで仏様に礼拝して、ご先祖様を供養しているからのお布施なんだよ」。

皆さんが、ご縁のある亡き親やお子さんのために、「感謝」の気持ちや「幸せであるように」祈り、お供えをする。その思いを受けて、仏教の儀式に則って「引導作法」や「読経」し、ご供養をする。葬儀にお寺さんを数人呼ぶのもお供えだね。

要するに、単に僧侶に読経をしてもらうお礼（料金）ではなく、皆様からの仏様ご先祖様へのお供えであり、それはお寺を守り、様々な人へ供養することにも繋がっているのだよと。

「なるほどな」と思いました。とはいえ、私たちは資本主義、等価交換の世界で生きていますので、「これをしてもらったなら、これをしなければならぬ」という価値観が根付いていますし、お寺も経営してい

なくてはならず、ある程度の目安がなければ維持できないのが現状でもあります。この度の百周年記念事業も目安を決めて、皆様へお願い致しました。維持費もそうです。

しかしながら本来は、災害の寄付金のようにそれぞれのお気持ちで被災地のために寄付するように、お世話になったご先祖や目に見えないご縁に感謝して行うものが布施となります。

色々バランスが難しいことではありませんし、料金になってしまいがちなところもあり、悩むところです。しかしながら布施の精神を忘れずにいたいと思います。

そしてお寺もまた、皆様のお気持ちに見合うよう、良いお寺となるよう精進していかなければと思います。



行事のご案内

「春彼岸会・正御影供」

三月二十日 午前十時

於 津別町福王寺

三月十七日 午前十時

於 北見別院

「春のお彼岸」、「弘法大師正御影供」
のお参りです。お大師様、ご先祖様への感謝を込め、皆様の幸せを祈りましょう。

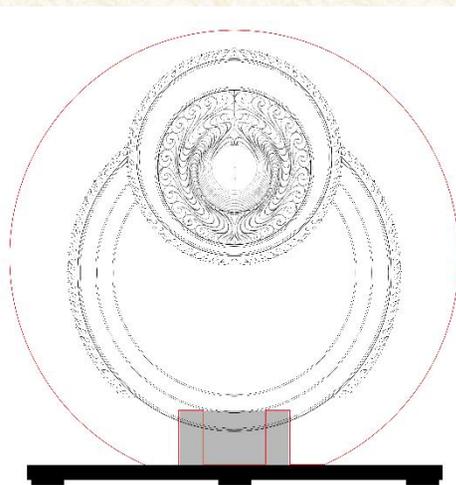
維持費納入のお願い

毎年三月のお彼岸の案内とご一緒に、お寺の維持費のお願いをしております。
お寺の運営は、皆様の維持費、また会場の使用料によるところであります。
別紙の会計書の通り、皆様の維持費はお寺の運営の為に使わせて頂いております。

納骨の管理費も含まれておりますので、ご理解を頂き、**一万五千元以上**、お納めいただきますようお願い申し上げます。

地方の方には振り込み用紙を同封させて頂いておりますので、ご協力お願い致します。

百周年 本尊図画



皆様のお気持ちで、百周年事業も少しずつ進んでおります。秋には福王寺のご本尊さまを造立する契約を結び、図画を書いて頂きましたので、ご報告いたします。

私たちの思いが形となり、何百年も祈り続けられる福王寺の仏様となりますよう。
また弘法大師の修繕も今年度に行おうと思っております。お盆頃には、出来れば「のみ入れ式」という儀式を行いたいと思っております。